媒体名	日刊ケイザイ
掲載日	2007年3月5日（月）

パワフル関西 ●●208●●

ビジネスマンに休憩と仕事の場提供

株式会社アクロス

ネットカフェ「COMIC BUSTER」

国内の潜在市場4000店

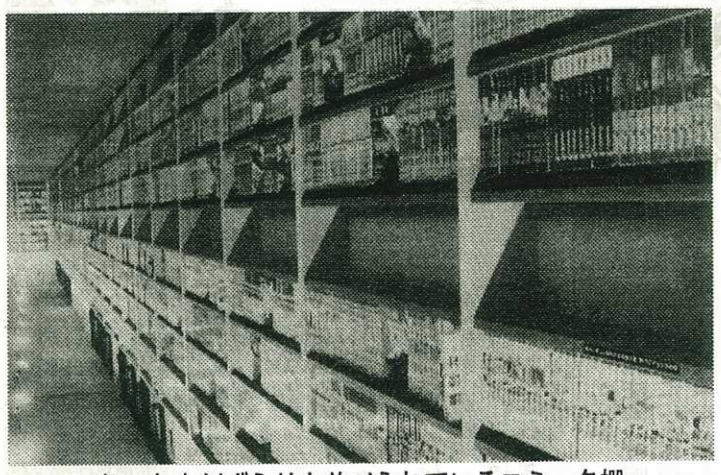
1割のシェア確保へ

最近、街の至る所に"インターネットカフェ"が出店、競争が激化している。ビジネスマンが社外で資料の作成やネット検索、休憩の場として利用しながらやっているからだ。

「COMIC BUSTER（コミックバスター）」のブランド名で全国にチェーン展開しているのが株式会社アクロス。FC（フランチャイズチェーン）方式が中心で全国に144店舗ある。ブランド名のBUSTERという言葉は6つの単語の頭文字からとった造語。コミックバスターの基本理念の思いが込められている。BはBetter、UはUseful、SはSurvice、TはTimely、EはEnough、RはReformationである。コミックバスターは、ただ単にコミックやインターネットなどのコンテンツだけを提供するのではなく、サードプレイス（会社や学校でもない、自宅でもない、日常生活の中での第3の居場所）を提供している。

「コミックバスターを始める前は、レンタルビデオショップを運営（直営・オープンサポート）レンタルコミックを提供していたので、コミックの人気には気付いていました。その後、レンタルビデオ業界が衰退したので、漫画喫茶に業態変更したところ人気を博しました。最初は漫画とフリードリンクのみの組み合わせでしたが、WINDOWS95の普及によりPCが一般家庭にも普及するようになりました。またNTTがインターネットの繋ぎ放題（フレッツISDN）のサービスをするようになったので、店内にPCを設置、徐々に現在の形態に進化させました」原田健一社長。

時代の流れとともにお客様のニーズも多種多様化するため、オープン席、ペア席などを用意している。それからPCの最大のメリットであるインターネットは、世界中の人とやり取りすることができるため、最新のオンラインゲームを楽しめる。さらに、ネットの動画・音楽配信やネットバンキング、ネットショッピング、IP電話などにも積極的に対応しながら、地域メディアステーション・情報発信基地としてお客様に身近に感じられる複合カフェを目指す。



色々な本がずらりと並べられているコミック棚

シングルブース内

ニーズの多種 多様化に対応

経営内容は、平成19年5月期の単独業績はFC店からのロイヤリティー収入などを中心に売上高は前期比34%増の約34億円の見通し。平成20年5月までには100店舗増の240店舗にまで拡大し、売上高も40億円程度見込む。

「ネットカフェの国内滞在市場は4000店舗とみ、その10%のシェアを確保したい。いずれは海外にもネットカフェを普及させたい」原田社長は意気込む。

〈会社案内〉

株式会社アクロス
代表取締役社長　原田健一
創業　1995年6月22日
資本金　1億8千万
従業員　88名（うちアルバイト47名）
住所　大阪府吹田市江の木町17番1号　江坂全日空ビル8F
電話　06・6339・8400